

北海道の農業による地域振興の経験を途上国に ～農村振興セミナー～

北海道では、農業生産基盤の整備・強化・拡充といった「農業振興」とあわせ、農業を基盤とした産業振興やまちづくり、「農村振興」が地域住民と地方自治体が一体となって行われてきました。JICA札幌では、この経験・技術を開発途上国の農村振興に活かすことを目的に、研修コース「農村振興セミナー」を実施しています。今年は、10カ国から10人の研修員を受け入れました。

この研修では、北海道の農業や地域振興策についての講義の他に、2泊3日でファームステイを行うとともに、農産物を活かした地域おこしの現場視察を行っています。ファームステイでは、深川市で農作業を実際に体験するとともに、ファームステイ先の農家経営や生活を学びました。また、そばで成功した幌加内町と、トマトジュースで成功した鷹栖町を訪問し、実際に農産物を活かした地域おこしを行った方々と意見交換を行いました。

ケニアからの研修員、アゲサさんは次のように語ります。

「これまでの研修の中で、農業政策の発展についての授業が印象深かったです。政府がどのように農業を営む人たちを支援しているのかが勉強になりました。ファームステイでは、北海道で農業を営んでいる人達の気持ちを理解したいです。また、米や大豆といった農産物の栽培方法を、ケニアに戻ったら、自国の栽培方法と比較しながら活かしていきたいです」

研修員の国の現状は十人十色異なります。しかし、活発な質疑応答を行う等、日本での研修に意欲的に取り組む研修員の姿から、北海道の農業振興そして農村振興の経験が開発途上国の農業のお手本になっている証であると確信しました。

(JICA札幌 南雲)



自分たちで作ったプリンを食べる研修員



ファームステイ先の家族との一枚

北海道の観光による地域振興の経験を途上国に ～南東欧観光振興コース～

北海道は、知床や釧路湿原に代表される自然環境を活かした観光、ニセコや富良野に代表される体験型観光、小樽や函館に代表される都市型観光等、多様な観光資源を活かし、国内有数の観光地として成長してきました。また、旅行形態の個人・小グループ化や旅行目的の多様化、個性化といった環境の変化に対応すべく、広域ブロック観光の推進、地域の農林水産業と観光の連携促進、エコツーリズムやグリーンツーリズム等への対応等を進めています。また、自然環境保全と観光が両立する持続可能な観光の確立に向け、行政と地域住民・団体、民間事業者が一体となり検討を行っています。このような北海道の観光による地域振興の事例を開発途上国の地域振興に活かすべく、今年よりアルバニア、クロアチア、ボスニア・ヘルツェゴビナ、セルビア、ウクライナ等の南東欧の国々を対象とした研修コースを財団法人札幌国際プラザの協力のもと開始しました。

南東欧地域と北海道は、豊かな自然環境を活かした観光、雪を資源とした観光等、類似点が多く、研修員は富良野、知床、釧路、阿寒といった道内観光地や関係者との意見交換に特に高い関心を示していました。

旧ユーゴ紛争終結後、依然として脆弱な社会体制にあるこれらの国々にとって、自国の豊富な観光資源を活かした持続可能な観光振興は、域内の民族融和の促進、経済発展と地域全体の安全に貢献するという意味からも、この研修に大きな期待が寄せられています。

(JICA札幌 林)



研修員に説明を行う富良野自然塾 倉本 塾長



研修員に講義を行う石森秀三北海道大学教授

北海道の災害復興の経験を途上国に

北海道は、古くは函館の大火、近年では釧路沖地震(1993年)、北海道南西沖地震(1993年)、有珠山の噴火と様々な自然災害による被害を受けて、地方自治体や住民が一体となって災害からの復興に取り組んできた地域です。JICA札幌では、このような北海道の経験を活かし、開発途上国からの留学生を対象として、7月下旬に約1週間、災害復興と復興地の観光戦略をテーマにしたセミナーを開催しました。

セミナーに参加した18名の留学生は、北海道南西沖地震で津波の被害を受けた奥尻島や有珠山の噴火の被害を受けてきた洞爺湖町・壮瞥町を訪れました。

奥尻町では町役場企画観光課主幹の長崎さんから、災害の概要や復興までの道のりについて説明をうけるとともに、津波館や震災後に設置された避難路などを視察しました。特に、2004年にスマトラ沖地震を経験したインドネシアとスリランカからの留学生は、自国での被災の様子を話し、活発な意見交換を行っていました。有珠山山西山火口散策路では地面に直接手を触れ、また有珠山山頂では今にも崩壊しかけている岩肌や小規模ながら噴出している水蒸気を目にし、災害への備えの重要性を実際の課題として感じていました。

札幌に戻ってから、北海道における災害復興と観光戦略を途上国に適用するための意見発表会も行われ、セミナーは終了しました。

(JICA札幌 宮下)



奥尻町の津波館を見学する留学生

地域開発・振興分野のその他の研修コース

研修コース名	研修実施機関	研修の概要
コロンビア地方行政開発計画	江別市	(1) 地域開発における自治体行政の役割(地域振興支援策、税制、自治体による産業振興施策、環境保全策等)への理解を深める。(2) 北海道総合開発計画手法について理解を深める。ことを目的に、江別市の商工業や農業振興の取組、江別市における民間企業の活動、江別市の環境分野の取組等について講義・視察を行うとともに、北海道総合開発計画手法に係る講義、道内の他の地域振興事例の視察等を行う。
トルコ東部黒海地域人材育成	(株)地域開発研究所	(1) 行政と民間の連携の重要性の理解、(2) 北海道における地域振興事例の特質の理解、(3) 地域経済の発展における農林水産業、観光、中小企業育成、環境保全が相互に連携し相乗効果をあげることの重要性を理解する、等を目的に北海道の農業施策や観光施策、地方自治制度について講義を受けるとともに、富良野市、旭川市、小樽市等を訪問し、地方自治体による実際の地域振興施策を理解する。あわせて、北海道の地域開発・振興の経験の東部黒海地域への適用可能性を考察し、帰国後のアクションプランを作成する。